

逆流性食道炎の外科的治療

～薬を飲んでも良くならないと悩んでいませんか？～

川崎幸病院

外科 / 外科医長

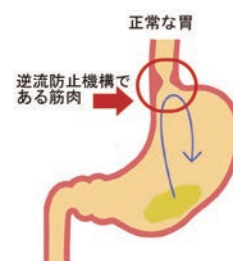
網木 学（あみき まなぶ）



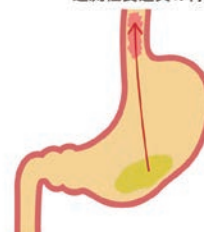
逆流性食道炎とは

逆流性食道炎とは、胃の内容物が食道に逆流することにより、胸焼けなどの症状を起こす病気です。主な原因として、食道と胃のつなぎめの機能低下が挙げられます。

通常は、食道の下部が逆流を防ぐ役割を果たしているのですが、この機能が弱まると胃内容物が食道へ逆流し、様々な症状を引き起こします。これまでは高齢者の病気と考えられていましたが、最近では若い人にも多いことが分かってきています。



正常な胃



逆流性食道炎の症状

- ・ 胸焼け
- ・ 呑酸（どんさん）※ 口の中へ胃内容物が逆流することにより、苦みや酸っぱみを感じる症状
- ・ 喉の痛み
- ・ 咳

逆流性食道炎の治療

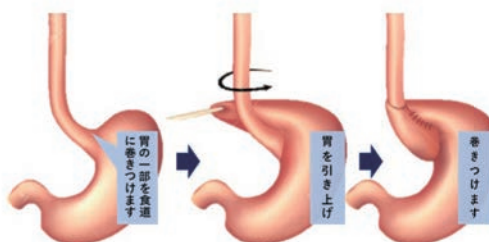
逆流性食道炎の治療は、薬による治療が基本です。薬で胃酸を中和する治療で多くの場合は改善しますが、十分な効果が得られない場合は外科的治療を行います。

外科的治療法

胃を正常な位置に引き戻し、食道へ巻きつける手術を行うことにより逆流を防止します（噴門形成術）。腹部に5-12mm程度の孔を5ヶ所開け、腹腔鏡を用いて手術を行うため傷はあまり目立たなく痛みも非常に少ないです。また入院期間も5日間と短くすみます。すべての逆流性食道炎に有効な手段というわけではありませんが、重症の患者様に対しては非常に有効な治療方法です。なお、手術適応については内視鏡やバリウム検査などを行い、慎重に検討させていただきます。



腹腔鏡手術



治療に関する
疑問・相談
(無料)



診療のご案内



社会医療法人財団 石心会

第二川崎幸クリニック

受診予約 ☎ 044-511-2111

電話予約受付時間

月～金 8:00～20:00 土曜 8:00～17:00 日曜 8:30～17:00 祝日 8:30～17:00



YouTube で医師による
治療法についての動画を公開中です